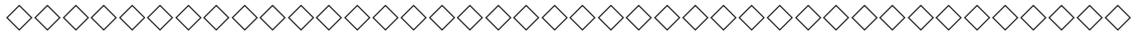


情報えひめ（財団からのお知らせ）【138号】

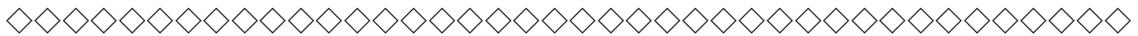


平成30年7月豪雨災害により犠牲になられた多くの方々に対しまして、心からお悔やみを申し上げますとともに、被災され今なお生活再建や事業再開にご苦勞を重ねておられる皆様方に衷心よりお見舞いを申し上げます。

当財団におきましては、愛媛県内で被災された事業者様の経営再建のご相談などにも積極的に対応していく考えですので、事業再開など復旧にめどがつかましたら、よろず支援拠点やビジネス・サポート・オフィスなどにお気軽にご相談いただきますようご案内いたします。

また、グループ補助金の交付決定を受けた被災中小事業者を対象に、同補助金の自己負担分を無利子で貸付する制度の取扱いをはじめましたので、お気軽にご相談ください。

公益財団法人えひめ産業振興財団理事長 大塚岩男



今回の目次

◎イベント・募集情報等

- [1] 「IoTセミナー」LPWAの利用がIoT導入を加速させる！（無料）のご案内
- [2] 研究開発助成金公募締切迫る～三菱UFJ技術育成財団～
- [3] 2019年工業統計調査の実施～総務省・経済産業省
- ※ ちょっと「一服」、⑩ ～話の彩りに～

—[イベント・募集情報]—

◆ [1] 「IoTセミナー」LPWAの利用がIoT導入を加速させる！（無料）のご案内

IoTの導入に向けて、通信技術の一つであるLPWA（Low Power Wide Area）について、四国の企業の取り組みやメーカーの製品事例などをご紹介します。また、IoTセキュリティについてもご紹介いたします。

ぜひご参加ください！

詳細URL

<http://www.ehime-iinet.or.jp/event/2078>

- 日時 令和元年5月24日（金） 13:00～16:00（受付 12:30～）
- 場所 テクノプラザ愛媛 本館 テクノホール
松山市久米窪田町337-1 <https://www.ehime-iinet.or.jp>
- 講師 眞鍋 厚 氏
（スタンシステム株式会社 代表取締役社長）
松本 健平 氏
（株式会社アイエスエイ セールス&マーケティングマネージャ）
森下 えみ 氏
（株式会社インテルレート 代表取締役社長）
- 定員 150名（募集定員になり次第、締め切らせていただきます）
- 受講料 無料

■問い合わせ先

(公財)えひめ産業振興財団 総務企画部企画情報課 谷口、堀田
TEL 089-960-1110 FAX 089-960-1107
〒791-1101 愛媛県松山市久米窪田町487番地2
ホームページ：<https://www.ehime-iinet.or.jp/>

◆ [2] 研究開発助成金公募締切迫る～三菱UFJ技術育成財団～

三菱UFJ技術育成財団からのご案内です。

研究開発助成金公募締切迫る(締切：5/20) ～三菱UFJ技術育成財団～

三菱UFJ技術育成財団は、技術指向型の中小企業の育成を通じて、我が国産業の発展並びに中小企業の経営高度化に貢献することを目的として、昭和58年に設立、発足しました。当財団では、このような目的を達成する事業の一環として、設立以来、新技術・新製品等の研究開発に対する助成金の交付事業を行っております。今年度第1回目となる助成金の公募を5月20日まで実施しております(最大300万円、交付決定時前払い)。新規性・独創性に富むプロジェクトのご応募をお待ちしております。

【研究開発助成金】

■応募資格者・プロジェクト

- ・新技術・新製品等を自ら開発し、事業化しようとする具体的な計画を持つ、設立または創業後もしくは新規事業進出後5年以内の中小企業または個人事業者。
- ・現在の技術から見て新規性のある研究開発プロジェクトで、原則として2年以内に事業化の可能性があること。

■助成金額

- ・1プロジェクトにつき300万円以内 かつ 研究開発対象費用の1/2以下

■公募期間

- ・4月20日～5月20日(公募期間を変更しておりますのでご注意ください。)

■選考方法

- ・学識経験者等で構成する当財団の審査委員会にて厳正かつ公平なる選考を行います。

詳細は以下リンク先もしくは応募要項をご覧ください。

<http://www.mutech.or.jp/subsidy/index.html>

尚、当財団では、助成金交付に加えて、より長期的な視野で支援する目的で、当財団が株式(最大500万円)を保有する事業も行っております。創業以降の成長ステージに対応する形で株主になることにより、長期的に支援して参ります。

【株式保有】

■対象企業

- ・当財団の助成金交付または債務保証を過去に受けた中小企業のうち、当財団の助成金交付または債務保証を受けた際のプロジェクトによる新技術・新製品等の開発及び事業化が実施され、成長が見込まれる者。

■保有額

- ・1社につき500万円以内(対象企業の議決権の過半数を超えない金額)。

■公募期間

- ・随時

■選考方法

- ・学識経験者等で構成する当財団の審査委員会にて厳正かつ公平なる選考を行います。

公益財団法人 三菱UFJ技術育成財団
萩 (TEL：03-5730-0338)

◆ [3] 2019 年工業統計調査の実施～総務省・経済産業省

総務省・経済産業省では、工業統計調査を2019年6月1日現在で実施します。本調査は、製造業を営む事業所を対象に、1年間の生産活動に伴う製造品の出荷額、原材料使用額などを調査し、製造業の実態を明らかにすることを目的としています。

本調査は、国の重要な統計調査であり、調査結果は国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として使われるほか、大学や民間の研究機関等においても広く利用されています。

調査をお願いする製造事業所には、本年5月中旬から6月にかけて、調査票を統計調査員が持って伺うか、または国から直接郵送でお届けいたしますので、お忙しい時期とは存じますが、調査にご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

また、同時に実施している経済構造実態調査の対象事業所におかれましては、両調査にご回答をお願いします。

なお、皆様からご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は保護されますので、正確なご記入をお願いします。

詳細は以下リンク先をご覧ください。
<https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/index.html>

◆ ※ チョット「一服」、②〇 ～話の彩りに～

☆☆

蔵六は豆腐に栄養があることをたえずいつていたひとである。かれ自身が豆腐に似ていた。実があり、虚飾がなく、無愛想である。

*豆腐好きだった村田蔵六(のちの大村益次郎)について
(『街道をゆく』、第26巻「嵯峨散歩」p.80～81) [朝日文庫]

豆腐には、たしかに旨い、不味(まず)いがある。
あるとし、愛媛県の宇和島の宿でうまい豆腐にめぐりあい、つくり手をきくと、宇和島から南へ十数キロ離れた津島町北灘(きたなだ)に小さな店をもつ佐藤六郎さんと、宇和島のまちにもファンが多いらしい。(中略)このように書いていると、私がいかに豆腐好きのように思われるかもしれないが、じつをいうと『花神』という小説を書いて以来の後遺症なのである。村田蔵六(のちの大村益次郎)は、豆腐が好きだった。
(『街道をゆく』、第26巻「嵯峨散歩」p.79～80) [朝日文庫]

司馬遼太郎が近代兵制の創始者といわれる村田蔵六(のちの大村益次郎、1824～1869年)を主人公に書き上げた『花神』は昭和44年から2年間にわたって新聞に連載された。

司馬はこの蔵六に関する記録を調べるなかで、かれの好物だった豆腐に強い関心をもつようになったようである。素朴な食べものである豆腐だからこそ、食への関心がうすい司馬が受け入れやすかったのではないかと私はみている。

ちなみにこの「嵯峨散歩」では豆腐を嵯峨文化の大きな柱と見立て11ページにわたり記述している。長宗我部元親が秀吉の朝鮮出兵後連れ帰った渡来人に専売させた高知の固い豆腐の話のほか、古文書研究を踏まえた豆腐の来歴などにも言及している。小説執筆にあたって調べられるだけのことはとことん調べるといふ司馬のひととなり垣間見えるエピソードの一つといえる。

いずれにしても、豆腐の話で、津島町(現宇和島市)の豆腐屋が取り上げられたのは愛媛県人として誇らしい。ただ、私はその店の豆腐を食べたことがないのが残念です。

((公財)えひめ産業振興財団専務理事 渡瀬賢治)

☆☆

財団専務理事の渡瀬です。私の愛読書『街道をゆく』(司馬遼太郎)を中心にした話を綴

